

<速報>

* 2月1日、シリアの反体制派が内戦後の新憲法制定委員会について、「国連の主導なら」という条件付きで参加する意向を表明した。

* 2月3日、イタリア中部マルケ州マチェラータで外国籍の6人が走行していた車の中から銃撃を受け、4人が重傷を負った。警察は車に乗っていた同州出身で28歳のイタリア人を拘束した。同容疑者は右派政党「北部同盟」の地方議員候補だった。

* 2月3日、トルコ軍は白井北西部アフリンで行っている越境作戦でクルド人民兵組織の人民防衛隊（YPG）の攻撃などによりトルコ兵7人が死亡したと発表した。

* 2月5日、シリアの首都ダマスカス近郊の東グータ地区でアサド政権軍側の空爆により子どもや女性を含む市民31人が死亡した。

* 2月7日、難航していたドイツの連立協議はキリスト教民主・社会同盟と社会民主党（SPD）の2大政党が再び連立を組むことで合意した。SPDのシュルツ党首は党首を辞任する意向を明らかにした。

* 2月7日、シリア東部デリゾール近郊でアサド政権軍側の部隊が「衝突回避ライン」を越えて進撃し、一体を支配するクルド人勢力とそれを支援する米軍中心の有志連合と衝突した。一方、首都ダマスカス近郊の反体制派の拠点東グータ地区では、政権軍の激しい空爆で市民170人が死亡した。8日、にも東グータ地区での空爆で56人が死亡した。

* 2月9日朝までに米国議会上下両院はそれぞれ2018年、19年両会計年度の歳出上限引き上げと3月23日までの新たなつなぎ予算の法案を可決、その後トランプ大統領が署名し成立した。

* 2月10日、中東を歴訪中のインドのモディ首相がインドの首相として初めてパレスチナを訪問し、自治政府のアッバス議長と会談した。モディ首相は対話を通じてパレスチナ国家が樹立されることを期待すると表明した。

* 2月10日、イタリア中部のマチェラータで、4日に発生した銃撃事件に抗議して人種差別に反対する数千人がデモ行進した。

* 2月10日、ナイジェリア大統領府が「ボコ・ハラム」との交渉の結果、13人の人質が解放されたと発表した。そのうち3人はマイドゥグリ大学の講師で、10人は女性警察官。

* 2月10日、「シリアで空爆を行った」イスラエル軍機が撃墜された。動機はシリア領空を侵犯し、アサド政権軍に撃墜された。

* 2月11日、フィリピンのベリヨ労働雇用相がクウェートで働くフィリピン人に対する虐待の報道を受け、ドゥテルテ大統領が帰国のための航空便を提供すると表明したところ、2200人以上の希望者があったと公表した。

* 2月13日、イラク内務省当局者が、「イスラム国」の最高指導者アバクル・バグダディ容疑者が空爆で負傷してイラク国境に近いシリアの「イスラム国」支配領域に潜伏している可能性が高いと明らかにした。

* 2月13日、南アフリカの与党「アフリカ民族会議（ANC）」の全国執行委員会が同国の

ズマ大統領（75）を辞任させることを決定した。14日夜、同大統領が記者会見を開き、辞任を表明した。15日、議会は後任に与党 ANC 議長で副大統領のラマポーザ氏（65）を選出した。

* 2月13日、フィリピンと中国は南シナ海問題について話し合う2国間協議メカニズムの第2回会合をマニラで開催し、南シナ海の紛争を激化しかねない行動を自制し、信頼を強化する措置を探求していくことで合意した。

* 2月14日、米国フロリダ州南部パークランドのマージョリー・ストーンマン・ダグラス高校で銃乱射事件が発生し、生徒ら17人が死亡した。容疑者は白人至上主義団体「フロリダ共和国」に所属していた。

* 2月9～15日、エジプト軍が東部シナイ半島を中心にイスラム過激派の掃討作戦を本格化し、53人を殺害、約680人を拘束した。

* 2月16日、マラー米国特別検察官が2016年の大統領選挙にソーシャルメディアを使って不正に介入したとしてロシア国籍の13人と関連企業3社を起訴したと発表した。

* 2月16日、ペルー政府は4月13～14日にリマで開催される米州首脳会議について、ベネズエラのマドゥロ大統領に宛てた招待状を撤回した。

* 2月17日、イスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区の境界付近で爆発が起きてイスラエル兵4人が負傷した。これを受け、イスラエル軍は17日夜から18日未明にかけて戦闘機や装甲車両で「ハマス」の関連施設18ヶ所に大規模な報復攻撃を実施、パレスチナ人2人が死亡した。2014年夏のガザでの戦闘以降、最大級の暴力の応酬となった。爆発はガザで3番目に強い勢力とされる「人民抵抗委員会」の犯行と見られる。

* 2月18日、ロシア南部タゲスタン共和国の小都市キズリャルで男がロシア正教の境界を外から銃撃し、女性信者5人が死亡した。「イスラム国」が系列のアマク通信を通じて犯行声明を出した。

* 2月18日、ロイター通信がシリアのクルド人勢力がトルコ国境に近いシリア西部の支配地域アフリンにアサド政権軍を迎え入れることを決定したと報じた。同地域は1月20日以降、トルコ軍の侵攻を受けており、クルド人勢力は対トルコでアサド政権と共闘する狙いと見られる。

* 2月18日、イスラエルのネタニヤフ首相がドイツでの「ミュンヘン安全保障会議」再守備の討議で演説し、敵視するイランについて「世界にとって最も大きな脅威だ」と主張。イスラエルは自国を守るため「ためらわず行動する」と明言した。

* 2月18日夜、イラク北部くるくーく近郊でシーア派の民兵組織の拠点が襲撃を受け、兵士少なくとも27人が死亡した。「イスラム国」が「アマク通信」を通じて犯行声明を発出した。

* 2月19日、イランの首都テヘランのチュ深部で少数派のイスラム教スーフィズム（神秘主義）を信仰する人々がデモで警官隊と衝突し、警官3人が死亡した。

* 2月19日、シリア国営メディアがトルコ軍などが進撃を続けているクルド人支配下の

北部アフリンにアサド政権派の民兵部隊が間もなく進軍すると報じた。

* 2月19日、ナイジェリア北東部ヨベ州にある女学校が「ボコ・ハラム」と見られる武装集団に主激され、性と多数が拉致された。

* 2月19日、ネパールの統一共産党 (UML) と毛沢東主義派は新生党「ネパール共産党」として統合することで合意した。

* 2月19日～20日、シリアのアサド政権軍が首都ダマスカス近郊の反体制派の支配地域「東グータ地区」に対して集中的に空爆し、市民194人が死亡した。22日朝までに335人が死亡。

* 2月20日、シリアでアサド政権側の民兵組織がクルド人勢力を支援するため、同勢力が支配する北西部アフリンに入った。

* 2月20日、米国国務省がペンス副大統領が平昌冬季五輪の開会式出席のために訪韓した際、金正恩朝鮮労働党委員長の実妹金与正氏らと会談することで双方が合意していたことを明らかにした。北朝鮮側が会談の2時間前に中止を申し入れたため実現しなかったという。

* 2月21日、ベネズエラの国会で多数を占める野党連合「民主統一会議」が大統領寄りの中央選管当局が設定した4月22日の大統領選挙について「条件が整わない限り、参加は当てにしないしてほしい」として、ボイコットする」方針を決定した。

* 2月21日、シリアのクルド人勢力主体の武装組織「シリア民主軍 (SDF 9)」が SDF が支援を受けるアサド政権側の民兵部隊が同国北部アフリンでトルコ軍の砲撃を受け、民兵2人が死亡、3人が負傷したと発表した。

* 2月21日、フロリダ州の高校での銃乱射事件を受け、トランプ大統領がホワイトハウスで事件の犠牲者の親や生徒と面会し、訓練を受けた教師や学校職員に銃を携行させてはどうかと提案され、賛意を示した。

* 2月21日までに、フィリピン国家警察が勧誘など「イスラム国」の工作活動をしていた浦賀腕マニラに住むエジプト国籍の男とフィリピン南部ミンダナオ島出身の女を y 対処したことを明らかにした。

* 2月22日、シリアのクルド人民兵組織「人民防衛部隊 (YPG)」がアサド政権に対し、北西部アフリンへの正規軍覇権を要請した。

* 2月23日夜から24日、アフガニスタン各地で反政府勢力「タリバン」によると見られる攻撃が相次ぎ、少なくとも23人が死亡した。(23日夜西部ファラー州で軍施設が「タリバン」に攻撃され兵士18人が死亡、24日南部ヘルマンド州で治安部隊施設の近くで自動車自爆攻撃があり「タリバン」が犯行声明。

* 2月24日、チェコのプラハに滞在中のシリアのクルド人勢力の有力指導者サレハ・ムスリム氏がチェコ東京によって拘束された。同氏は「民主統一党 (PYD)」の元共同代表。

* 2月24日、国連安保理がシリアでの人道支援物資の反裕也負傷者の退避のため、シリア全域での30日間の停戦を求める決議を全会一致で採択した。

- * 2月24日、ワシントン・ポスト（電子版）が、トランプ大統領とペニャ・ニエト大統領の会談が中止されたと報じた。壁建設をめぐる対立が解けなかったためと見られる。
- * 2月25日夕、韓国の文在寅大統領が五輪閉会式に合わせて訪韓した北朝鮮の金英哲挑戦労働老副委員長と会談、北朝鮮側は「米朝対話を行う優位がある」との考えを表明した。
- * 2月25日、中国共産党中央委員会が憲法で定める国家主席と副主席の任期2期最長10年を廃止する憲法改選案を発表した。
- * 2月25日、ナイジェリア正否が同国北東部ヨベ州にある全寮制の学校で110人の女子生徒が行方不明になっていると発表した。
- * 2月26日、トランプ政権が撤廃を決めた不法移民の子どもを強制退去としない措置（DACSA）に関し、米国連邦最高裁が撤廃差し止め命令の見直しを求めた政権の申し立てを却下した。
- * 2月27日、米国メディアがトランプの娘婿のクシュナー上級顧問を含む複数のホワイトハウス職員が最高機密情報を取り扱う視角を失ったと報じた。
- * 2月28日、北朝鮮外務省で対米交渉を担当する崔善締北米局長が外務次官に昇格したことが判明した。韓成烈時間の後任として、核問題など米国との交渉を主導する易人者となる見通し。
- * 2月28日、米国ホワイトハウスがホープ・ヒックス広報部長（29）が近く辞任すると発表した。
- * 2月28日、EU 欧州委員会はイギリスの EU 離脱時の条件を定める離脱協定の草案を発表した。EU は10月までの実質合意を目指している。